

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社豊田自動織機 山海荘	階数	地上3階
建設地	愛知県知多郡南知多町大字山海字河瀬間12番1の一部 他5筆	構造	RC造
用途地域	指定なし	平均居住人員	40人
気候区分	6地域	年間使用時間	6,257時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2023年5月 予定	評価の実施日	2022年7月19日
敷地面積	3,677 m ²	作成者	宮田よし子
建築面積	731 m ²	確認日	2022年7月19日
延床面積	1,497 m ²	確認者	杉山光宏



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 3.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆ 100%超: ★

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 57% (86 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 57% (86 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 57% (86 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 3

LR1 エネルギー: 3

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 重点項目

①地球温暖化への配慮

4.7

③敷地内の緑化

4.0

外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)

37.7 %

建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)

0.0 %

②資源の有効活用

3.6

④地域材の活用

1.0

<外装材に使用した地域性のある材料>

なし

<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>

なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄							全体
配慮項目	独自基準 重点項目	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
					評価点	評価点	重み係数	評価点		評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質											
Q1 室内環境											
1 音環境											
1.1 室内騒音レベル											
1.2 遮音											
1.3 吸音											
2 温熱環境											
2.1 室温制御											
2.2 湿度制御											
2.3 空調方式											
3 光・視環境											
3.1 昼光利用											
3.2 グレア対策											
3.3 照度											
3.4 照明制御											
4 空気質環境											
4.1 発生源対策											
4.2 換気											
4.3 運用管理											
Q2 サービス性能											
1 機能性											
1.1 機能性・使いやすさ											
1.2 心理性・快適性											
1.3 維持管理											
2 耐用性・信頼性											
2.1 耐震・免震・制震・制振											
2.2 部品・部材の耐用年数											
2.4 信頼性											

3 対応性・更新性				0.2	3.0	0.29	3.0	3.0	1.00	3.0	
3.1 空間のゆとり		②	階高4m以上	-	-	-	3.0	3.0	0.50	-	
1	階高のゆとり			-	5.0	-	-	-	3.0	0.60	-
2	空間の形状・自由さ			3.0	3.0	-	-	-	3.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	-	-	-	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性				1.0	3.0	1.00	-	-	-	-	-
1	空調配管の更新性			-	3.0	0.17	-	-	-	-	-
2	給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17	-	-	-	-	-
3	電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	-	-
4	通信配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	-	-
5	設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-	-	-
6	バックアップスペースの確保	3.0	3.0	0.22	-	-	-	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	-	0.30	-	-	-	4.2	
1 生物環境の保全と創出		独自③	外構緑化指数37.7%	-	4.0	0.30	-	-	-	4.0	
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	自然公園法の申請を行っている	-	5.0	0.40	-	-	-	5.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	3.5	0.30	-	-	-	3.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④	プール、デッキ、ピロティ、パーゴラを設置している	-	4.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	3.0	0.50	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性										4.0	
LR1 エネルギー						0.40				4.5	
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.79	3.0	5.0	0.30	-	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用			ハイサイドライトを設けている	3.0	4.0	0.20	-	-	-	4.0	
3 設備システムの高効率化			BEI=0.48	3.0	5.0	0.30	-	-	-	5.0	
4 効率的運用				0.2	3.5	0.20	-	-	-	3.5	
集合住宅以外の評価				1.0	3.5	1.00	-	-	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			太陽光発電量をディスプレイ表示している	3.0	4.0	0.50	-	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	3.0	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	3.0	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						0.30				3.8	
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4	
1.1 節水			節水型便器を設置	3.0	4.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	-	-	
1			雨水利用システム導入の有無	3.0	3.0	0.67	-	-	-	-	
2			雑排水等利用システム導入の有無	3.0	3.0	0.33	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	4.2	0.63	-	-	-	4.2	
2.1 材料使用量の削減				-	2.0	0.07	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.24	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	一部鉄骨(電炉材)	-	5.0	0.20	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	タイルカーペット、木調デッキ、栗石	3.0	5.0	0.20	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	3.0	0.05	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	木、石を使用している	3.0	5.0	0.24	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68	-	-	-	-	
1			消火剤	-	-	-	-	-	-	-	
2			発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50	-	-	-	-	
3			冷媒	3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境						0.30				3.7	
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率57%	-	4.7	0.33	-	-	-	4.7	
2 地域環境への配慮				0.3	3.6	0.33	-	-	-	3.6	
2.1 大気汚染防止				-	3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			降雨量、風向、風速を把握している	-	4.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.5	0.25	-	-	-	-	
1		独自	雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	-	-	
2		独自	汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	-	-	
3		独自	交通負荷抑制	-	5.0	0.25	-	-	-	-	
4			廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	-	-	
1		独自	騒音	-	3.0	0.33	-	-	-	-	
2		独自	振動	-	3.0	0.33	-	-	-	-	
3			悪臭	-	3.0	0.33	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-	-	-	
1			風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	-	-	
2			砂塵の抑制	-	1.0	-	-	-	-	-	
3			日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	3.3	0.20	-	-	-	-	
1			屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70	-	-	-	-	
2			屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	4.0	0.30	-	-	-	-	
			窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り、反射を防いでいる	-	-	-	-	-	-	-	

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.7
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.7	0.10	
② 資源の有効活用				3.6
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	4.2	0.19	
③ 敷地内の緑化				4.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	4.0	0.09	外構緑化:37.7%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・海沿いの場所に相応しいデザインと機能を有し、経済的かつ利便性の高い施設としている。 ・アースカラーを使用し、温かみのある色彩計画としている。 ・バリアフリーを実現している。 ・高耐久、塩害対策材料の使用によりメンテナンス性を向上させている。
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・庇の設置、全てのガラスをLowEガラスとし、一部グラデーション付き飛散防止フィルム貼りにより日射遮蔽を行っている。 ・内装仕上げに天然木、石を使用している。 ・遮音間仕切壁を設置している。 ・宿泊室を吸排気に配慮した計画としている。
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> ・1階階高を4.2mとし、宿泊室の天井高は2.6mを確保している。 ・天然素材を多用している。 ・防錆対策を行っている。 ・十分な配管スペースを確保している。
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> ・外構緑化指数が37.7%であり、中高木を植栽することにより、良好な景観を形成している。 ・ピロティ、ルーバー、庇、パーゴラ、中庭により、豊かな中間領域を形成している。
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・吹抜け部分にハイサイドライトを設けている。 ・有効な採光、通風を確保している。 ・人感センサーにより消費エネルギーを削減している。
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・節水型便器、擬音装置を設置している。 ・リサイクル資材を使用している。 ・JIS、JAS規格のF☆☆☆☆材を使用している。
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> ・浸透により雨水排水の負荷を低減している。 ・バイク置場、十分な駐車スペースを確保している ・日影規制を満たしている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な設備スペース、サービスヤードを確保している。 ・喫煙室を設置し、非喫煙者への対策を施している。